

育G新聞

Vol.8
イクジイが日本を元気にする。
毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 フザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

11/30・12/1 フザーリング
全国フォーラム in とっとり

男の子育て、孫育てについて、「フザーリング
全国フォーラム」で、語り合いましょう。

分科会8 地域で粹なイクジイが日本を変える

【日 程】 12月1日（土）

【時 間】 13時00分～15時00分

【場 所】 米子コンベンションセンターBIG SHIP

【対 象】 子育て、孫育て、社会貢献に関する方

【コーディネーター】 村上誠
(NPO法人フザーリング・ジャパン理事)

【パネリスト】 棒田明子
(NPO法人孫育て・ニッポン代表理事) ほか
【申込み】 www.fathering.jp/zenkoku/

全国孫育て講座・講演情報掲載！

NPO法人孫育て・ニッポンのサイトでは、
「全国の孫育て講座、講演情報」を掲載しております。お近くの講座に、ぜひご参加ください。

<http://www.magosodate-nippon.org>

育G登見

No.8

まるは・おはなし商店
早川 裕さん



絵本の読み聞かせを始めて約6年。

書店や保育園などで行う読み聞かせの
ステージは、通算200ステージを超える。

今年4月には初孫が生まれ、
仕事とプライベートの両方で
読み聞かせを楽しんでいる。

「自分の子どもには、ほとんど絵本を
読んであげた経験はないんです(笑)」。子育ては、妻に任せっきり。今、仕事やボランティアで子どもたちに絵本を読んでいるのは、罪滅ぼしでもあるという。

2003年に長年勤めた絵本の専門店
であり、絵本の出版も手がけるクレヨンハウスを退社、絵本の出版社をサポートする東京ブックサポートを設立。2006年から書店での読み聞かせをスタートする。「僕の書店での読み聞かせは、言ってみれば調理器具売り場でやっている実演販売と同じ。絵本にあまり興味が無かった人が、たまたま通りかかって絵本っておもしろそうって思ってくれれば大成功。」

絵本の読み聞かせのステージは1冊1冊

が真剣勝負。この絵本は絶対にいけると思って読んだのにもまるで反応が無かったり、子どもたちがうける場所が違ったり。「最近『想像力』が乏しい人が増えているように感じます。相手の気持ちを思いやる心、生活、勉強、仕事、研究などの仮説、すべてにおいて『想像力』が必要です。絵本は、想像力を育む入り口に最適。だから、もっともっと子どもたちに絵本を読んであげたい」。

孫が来ているときには、孫に絵本を見せる。6ヶ月の孫が絵本をじっと見、手を伸ばして取ろうとする姿に感動する。「20年前、スーツ姿でスーパーに立ち寄る人は、ほんんどいなかった。でも、今は違う。児童書売り場も、僕たち世代がもっと足を運ぶところにしたいですね。まだ絵本の世界に足を踏み入れたことがない方は、ぜひ図書館へ行って絵本を読み、おもしろい、楽しいと自分が思った絵本をお孫さんに読んであげてください。そして、絵本を読むことが楽しくなったら、ぜひ地域の子どもたちにも絵本を読んで欲しいと思います。」

育Gの極意

違う世界を見せるのもジジの役割

テレビ番組、音楽、映画など、孫と一緒にいるときには、いつも孫の好みにあわせているというジジが少なくないだろう。もちろん機嫌が悪いときなどはしそうがないが、ジジの好きなものを一緒に見る、聞くのも、孫にとったらいい経験。自分だけでは開けることがない扉を開け、ジジと一緒に新しい世界をのぞいてみる。興味を持つか持たないか、それはわからない。テレビ、音楽プレイヤーも一人一台の時代だからこそ、あえてジジと一緒に楽しめるものに価値がある。スポーツの世界もいい。ジジと孫との“二人だけの世界”を探り、一緒に楽しんでみよう。

育G潮流

父親参観日の次は祖父母参観

9月の中旬から10月中旬にかけて、保育園や幼稚園では「祖父母参観」なるものを行っている園が多い。昔前は幼稚園や学校行事は母親任せだったものが、父親に開かれ、授業参観や入学式、卒業式を、平日から土曜日に移行したところもあるようだ。そして、今、「敬老の日」や「孫の日」(10月の第3日曜日。日本百貨店協会提唱、1999年制定)前後に、祖父母に子どもたちの園での生活を見てもらい、祖父母との交流を深めることを目的として、「祖父母参観」が実施されている。

ある園では、孫が祖父母に招待状を書き、祖父母へ送る。孫が一生懸命書いて送ってくれた招待状を、友人に得

意気に見せたり、大切に保管している祖父母も多いという。参観日当日は、子どもたちの歌や劇を見たり、お屋と一緒に食べたり、なかには祖父母と一緒に昔遊びをするところもあるようだ。これからの育Gには、自分の孫だけでなく、友人の孫をも喜ばせるスキルも必要だ。昔とった杵づかで子どもたちと遊ぶのも良し、趣味を生かすのも良し。何か特技を身につけておくといいだろう。

今年もこれから招待状が届く家庭も多いだろう。招待状が届いたならば、返事は電話ではなく、できれば手紙を送ろう。クリスマスやお正月に、孫を招待するならば、今度はジジから招待状を送ってもいいだろう。ジジからもらった手紙は、孫にとって宝物になるはずだ。

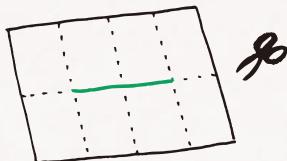
(NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長 ぼうだ あきこ)

育Gアドバイス

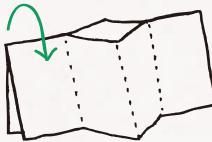
「孫とつくるカンタン絵本」

読み聞かせるだけじゃなく、いっしょに作るところまで楽しめる世界にたった一冊のオリジナル絵本の作り方をご紹介します。

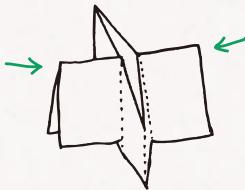
① 八ツ折りにして実線部を切る。



② 折って…



③ 左右から押す。



④ あっという間に8ページのミニ本ができ上がり！



Point!
絵と文をかく。
★最初にかいておくと樂ちん！

絵を描くのはちょっと・・・いうジイは、孫が描いた絵に話をつけたげるので楽しいですね。

